

# アサガオの色の探究

「ちゅうりっぷ、きれいだな」

「いろいろな色があるね」

「わたしはピンクが好き」

「ぼくは赤が好きだな」



ちゅうりっぷの“色”に興味を持っていた子ども達。  
活動の振り返りを行う中で、「ちゅうりっぷはなぜ色々な色があるのだろう？」と  
問いかけてみました。



「夜のうちに、お店の人が  
クレヨンで塗った」

「絵の具で塗ったんだ」

「種が色々な色してる」

「種に色をつけたんだ」

“種に色を塗れば、その色の花になる”という仮説を立て、  
実際にやってみることにしました。

残念ながら時期的にチューリップの球根はありませんでした。  
お店の人がアサガオの種をお勧めしてくれ、購入しました。



「アサガオの種は全部黒い」

「本当に黄色の花が咲くのかな？」

アサガオの種は全て黒色。  
絵の具と筆を使い、好きな色を塗ります。  
アサガオの種は小さいので、塗るのが  
難しそうでしたが、よく頑張りました。



## 「大きくな〜れ、大きくな〜れ♪」

色付きの種を園庭やプランターに植えました。  
約1週間後、芽が出ると大喜びの子ども達。  
どのように大きくなっていくか、5歳児が予想図を描きました。



「見て！咲いたよ！」

「紫から紫の花が咲いた！」

「やったー！！！」

すくすくと育ったアサガオ。  
なんと紫の種から紫の花が咲きました。  
これには子ども達もビックリ仰天！  
実験大成功です。

しかし数日後、オレンジの種から紫の  
花が咲いて首をかしげる子ども達。

仮説を立てて試してみることで、  
物事の本質を自然に体感できるのだと  
思いました。

